



学校のトイレの洋式化を!

湖南市公明党議員団 ●くわはらだ 美知子 議員

問 小学校のトイレは依然として和式が多く、3割の小学生が学校で排便しないことが分かりました。本市の園・学校の現状は。

答 園では洋式55.5%和式44.5%、小学校では洋式43.2%和式56.8%、中学校では洋式23.2%和式76.8%となっており、小中学校の全体でも36.8%で、全国平均よりも低いのが現状です。

問 文科省は学校のトイレを改修する際、費用の3分の1を補助しています。今後、トイレの整備はどうされますか。

答 現在のほとんどの家庭で洋式トイレが使用されている事からも、洋式化の必要性は十分認識しています。対応可能なところは洋式トイレへの転換を図っていききたいと思います。

公衆無線LAN「WiFi」の整備を!

問 総務省は2020年までに、自治体の庁舎や学校、公園などに、公衆無線LANの環境整備をすることとしています。日常では観光や教育活動に、災害時には避難情報や安否確認のやり取りに役立ちます。本市ではどのように環境整備されますか。

答 学校施設は、地域の防災拠点として重要な役割を持つていることから、平常時には学校教育に利用し、災害時には、フリーWiFiスポットとして有効利用できるよう検討を進めて参ります。



環境保全協定による 住民の安心安全の確保を

誠心会 ●山本 吉宗 議員



石部口地域は、産廃銀座といわれ数社が集積しています。騒音、振動などに住民が悩まされ、一方、火災や油の流出と問題が発生しているなか環境保全協定を結ぶことが解決の一步と住民の願いです。

問 生活環境保全条例と環境保全協定とは。

答 生活環境保全条例は、市民が健康で文化的な生活を営むため良好な生活環境の保全が必要なことから、市、事業者、市民それぞれが責務を明らかにするため条例第42条で事業者と締結することになつています。

問 協定を結ぶために必要な条件とは。

答 事業所と住民が生活環境問題の解決と地域での共生のため真摯な協議を行うなど良好な関係を築くことです。

問 環境保全協定を結ぶための問題は。

答 法律で規制している基準以上の規制を事業所に課す場合は、協定を締結しなければなりません。

問 協定を結ぶための市の役割は。

答 地域との共生のため、真摯な協議ができる環境づくりが必要で、本市として住民と事業所の協議の場に公平な立場で助言してまいります。

問 この協定は結ぶべきと考えますか。

答 この案件については環境保全協定の締結を行いたいと考えています。



石部口地域には産廃業が数多く存在しています